

蛙子池

(かえるごいけ)



肥土山農村歌舞伎

ため池の概要

ため池の所在地

香川県小豆郡土庄町

ため池の特徴

蛙子池は伝法川沿いの地域の水不足を解消するため1686年に造られた小豆島最大のため池で、現在でも農地200ha余りを潤し、地域の主水源として利用されています。

小豆島での水の苦勞は大変なものであり、見かねた肥土山村の大庄屋である太田伊左衛門典徳が、天和3年(1683年)、銚子溪の奥地で築造工事に着手しました。工事は難航し、典徳は資金作りに家財や水田まで売り払うなど苦勞を重ねた末に、池は貞享3年(1686年)に完成しました。

この地域の「肥土山農村歌舞伎」は、困難を極めた蛙子池が完成し、肥土山離宮八幡宮の側溝に水が流れてきたのを見た村人たちが、喜びのあまり神社の境内に仮小屋を建てて役者一座の芝居を催したのが始まりとされています。

この農村歌舞伎は、後継者を育成し歌舞伎を保存し継続していることが高く評価され、「第7回むらの伝統文化顕彰」で最優秀賞の農林水産大臣賞を受賞しています。その舞台は1900年に建て替えられた茅葺き寄せ棟造りで、屋根には蛙子池周辺の茅が使われています。

池築造がきっかけで生まれた伝統文化の継承を地元の人々が担い続けており、蛙子池は地域の人々にとってかけがえのない資産となっています。

関連情報

讃岐のため池誌 (編集) 讃岐のため池誌編さん委員会
(発行) 香川県農政水産部土地改良課
土庄町誌伝法川水系治水水利水史